

梅雨だからこそ出会える、下田市の絶景祭り

下田市を代表する初夏の風物詩「伊豆下田温泉あじさい祭」が開催されます。会場となる下田公園は、約300万輪ものあじさいが咲き誇る、日本有数のあじさいの名所として知られています。園内には100種類以上のあじさいが植えられ、青や紫、白、ピンクなど、多彩な色合いが訪れる人々を魅了します。

●下田公園にあじさいが植えられるようになった経緯

「下田市があじさいの名所となるきっかけは1967年のことです。旧下田南高等学校の建設にあたり、もともと咲いていたあじさいを下田公園に移植したのが始まりといわれています。



●見どころ

公園の石段や坂道の両脇を埋め尽くすあじさいは、まるで花の回廊のよう。遊歩道を進めば、視界いっぱいに広がるあじさいの群生が現れ、訪れた人を圧倒します。

中でも注目したいのは、下田港を一望できる絶景ビューポイントです。

眼下に広がる町並み、下田港、そして斜面いっぱいに咲くあじさいが織りなすコントラストが鮮やかに映え、思わず足を止めて見入ってしまうほどです。写真撮影スポットとしても人気が高く、多くの来場者が思い思いに初夏の景色をカメラに収めています。

●開催概要

- 日時：6月1日（月）から6月30日（火）
会場：下田公園（静岡県下田市三丁目19）
アクセス：【車】ペリー上陸記念碑前臨時有料駐車場
時間：8時から18時まで
料金：600円
台数：70台
【路線バス】伊豆急下田駅から下田海中水族館行き
「あじさい公園」下車（片道220円）
【タクシー】伊豆急下田駅から下田公園（約1,000円）
料金：入園無料



●日が暮れてからも楽しめます ～関連イベントのご紹介～

【あじさいロード】

ライトアップされたあじさいと竹あかりがコラボレーションした幻想的な景色により、夜の街歩きが楽しめます。

※あじさいは見頃を終えたら展示を終了します。

- 実施日時：6月1日（月）から6月30日（火）
19時から21時まで
- 会場：了仙寺（静岡県下田市三丁目12-12）
- 料金：無料



詳細はこちら▶



ライフ・イノベーション分野 2年連続全国1位評価！ ふじのくに先端医療総合特区

お問合せはこちら▼
静岡県新産業集積課
☎054-221-2985

2011年度に、静岡県東部12市町※が「ふじのくに先端医療総合特区」に指定されました。

本特区では、**医療機器の開発・製造を中心に、地域企業が医療健康産業に参入するための支援を積極的に行っています。**

2021年4月に山梨県7市町、2026年4月に山梨県8市町村が新たに加わり、エリアを拡大して両県の連携を一層強化し、さらなる医療機器開発・製造等に取り組んでいます。

※沼津市、三島市、富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、伊豆市、伊豆の国市、函南町、清水町、長泉町、小山町

総合特区とは？

日本全国一律に決まっている国の法律やルールが、地域の実情に応じた対応やビジネスの妨げになってしまうことがあります。そこで国は、2011年に「特区制度」を作り、自治体と連携して特定の地域だけルールを変えることで、地域資源を活かして産業を強化し、地域の課題解決や新しいビジネスの創出を目指しています。

目標

●がん医療の飛躍的發展

- 革新的ながん診断装置・診断薬の研究開発の拠点化を進め、国際競争力を有する製品を迅速に世界へ提供

●地域企業の活性化と雇用創出

- 医療機器や部品・部材を提供する地域企業による産業クラスターの形成

取組

ゲノム医療の技術開発



地域企業の医療機器開発のための支援拠点



静岡県・山梨県連携



企業進出のメリット

- 資金面の優遇・利子補給金：設備投資等の借入に対し、最長5年間・最大0.7%の利子補給
- ハードルを下げる・規制緩和：総合特区の仕組みを活用した規制緩和・特例措置、県を通じた国への働きかけ
→これまで医療機器製造販売業に関する責任者設置要件の緩和等を実現
- サポート体制：開発から販路開拓まで、専門的知見を持つスタッフがワンストップで伴走支援

静岡県アンテナコーナー「おいしさ」のオススメ



おいしさ▼

JR秋葉原駅徒歩2分 CHABARA内
「日本百貨店 しょくひんかん」
千代田区神田練堀町8-2 (JR高架下)

おいしさ楽天市場店▼



今月のオススメ商品は、「ふじのくに新商品セレクション2019」の最高金賞を受賞した「Honeyboyシリーズ」(河村養蜂場)です。

静岡県の牧之原市は温暖な気候と自然豊かな里山といった養蜂に適した環境に恵まれ、良質の蜜源植物がそれぞれの季節に花を咲かせます。その地で元気に育ったミツバチが集めたはちみつを月ごとに瓶詰めしたハニーボーイシリーズのはちみつです。

6～8月という短い期間内で色合いも風味もそれぞれ特徴のある3種のはちみつが、里山の季節の移り変わりを伝えます。

編集後記

4月に着任しました行政連絡班の田中です。

東京事務所での勤務は初めてとなりますが、令和3～4年度に省庁派遣で2年間東京で勤務しており、4年ぶり2回目の東京勤務となります。



主任
田中 誉久

前回の東京勤務の際は、新型コロナウイルス感染症の流行により、緊急事態宣言が発令され、飲食店の時短営業や不要不急の外出自粛などが呼びかけられていた時期もあり、自宅と職場をひたすら往復する日々でした。

4年ぶりの東京は、その頃の面影はほぼなく活気にあふれており、今回は、仕事はもちろん魂を込めて取り組む一方で、その他の時間も充実したものにしていきたいと考えています。